



実験の視点💡

弁天線の停留所は連節バス対応ではない前提で、実際に停車した際の停車位置、後続車両への影響、安全確保などを確認することを目的としています。

■ 後続車両が一時的に滞留したバス停

⑤紫竹山（下）、⑥弁天橋（上）、⑦原の台（下）



■ その他のバス停

第1車線上に停車、又は停留所から一部はみ出し停車したが、混雑は生じなかった。



▲⑨山潟小学校前（上）の状況

停留所からはみ出し停車したが、一般交通への影響はほぼなし
⇒現在も引き続き、安全な運行に向けて確認しています。